

天竜川下流・菊川 流域一体型タイムラインについて

流域タイムラインとは

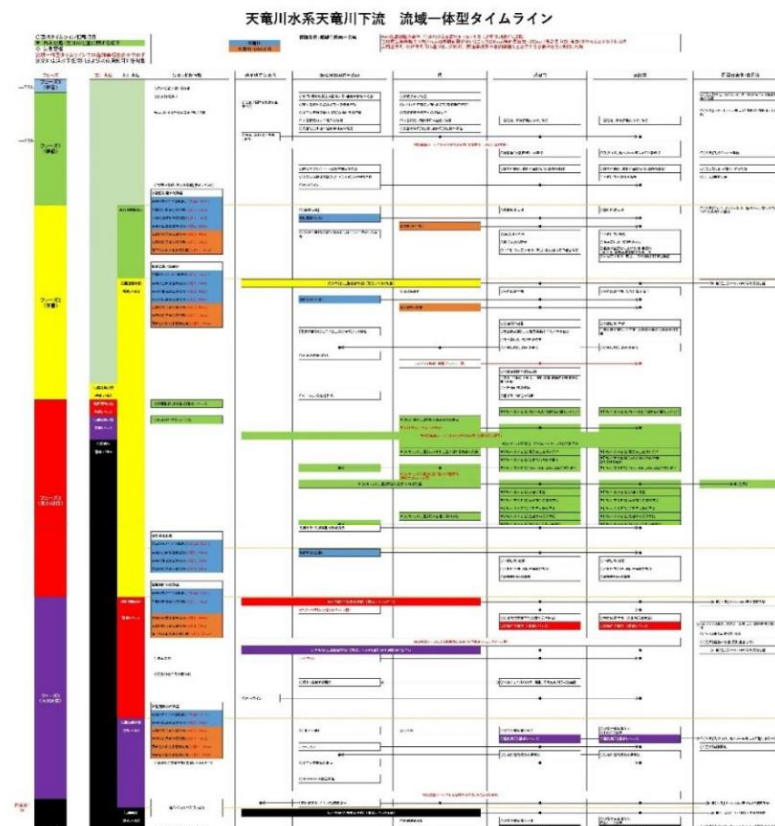
○流域タイムラインは、河川事務所等が、その管理する河川の流域を対象に、河川・気象情報を基に発表する洪水予報など、自らの基本的な防災行動を確認するとともに、災害後の振り返りに用いることを目的とするもの

流域タイムラインの作成・活用の推進について：事務連絡(R4.3.17)

○災害対策基本法第36条第1項の規定により定めた国土交通省防災業務計画(令和3年10月)において、「避難情報に着目した水害タイムラインを複数市区町村を対象とした流域タイムラインに見直す」とされた

○流域タイムラインと市町タイムライン、世帯や地区ごとに作成されるタイムラインなどが、階層的かつ相互に連携し、作成・活用されることが重要

令和4年度に作成したタイムライン (例:天竜川下流域)



ポイント:各市町毎に作っていたタイムラインから複数自治体(県・市町含む)を対象とした「流域一体型タイムライン」とした。

意見交換会および読み合わせ訓練等によって関係機関での合意形成を重ねながら、天竜川下流版および菊川版の流域一体型タイムラインを作成した。

天竜川水系天竜川下流 流域一体型タイムライン

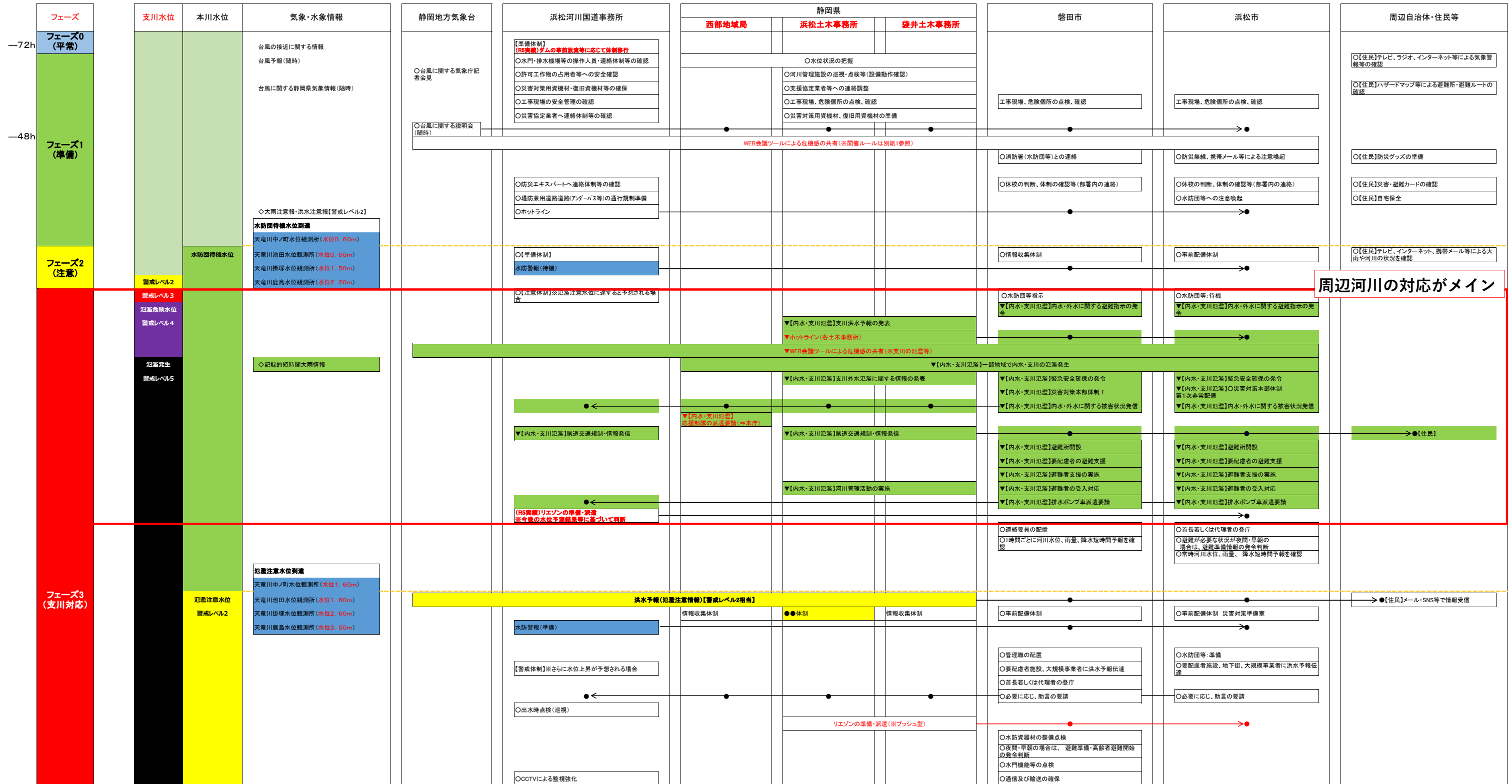
○現状タイムライン記載項目
▼：内水氾濫・支川の氾濫に関する項目
◇：気象警報
流域一体型タイムラインでの追加事項を赤字で示す
※支川は洪水予報河川・水位周知河川を対象
※支川対応はR5実績を踏まえて組み込み

天竜川下流

前提条件:前線性降雨+台風

Web会議開催の要件 ①または②を満たすときとする（詳細は別紙1に記載）
 ①府県気象情報で予想される48時間雨量が多いところで300mm（静岡県西部）・250mm（長野県中部・南部）を超える予想される時
 ②雨量予測・水位予測等に基づき、浜松河川国道事務所が各関係機関を参集があると判断した時

資料6-2



天竜川水系天竜川下流 流域一体型タイムライン

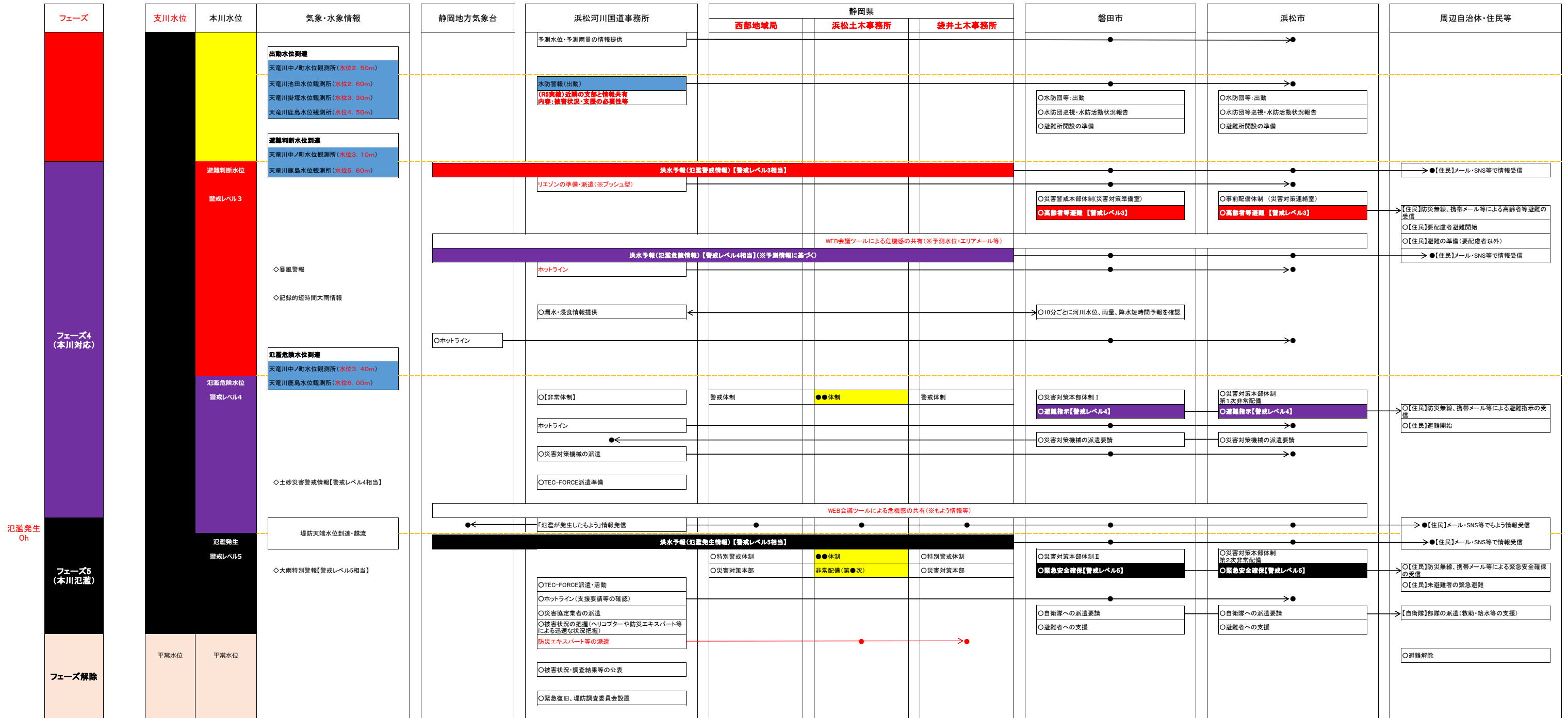
○現状タイムライン記載項目
▼:内水氾濫・支川の氾濫に関する項目
◇:気象警報
流域一体型タイムラインでの追加事項を赤字で示す
※支川は洪水予報河川・水位周知河川を対象
※支川対応はR5実績を踏まえて組み込み

天竜川下流

前提条件:前線性降雨+台風

Web会議開催の要件 ①または②を満たすときとする（詳細は別紙1に記載）
 ①府県気象情報で予想される48時間雨量が多いところで300mm（静岡県西部）・250mm（長野県中部・南部）を超えると予想される時
 ②雨量予測・水位予測等に基づき、浜松河川国道事務所が各関係機関を参集する必要があると判断した時

資料6-2



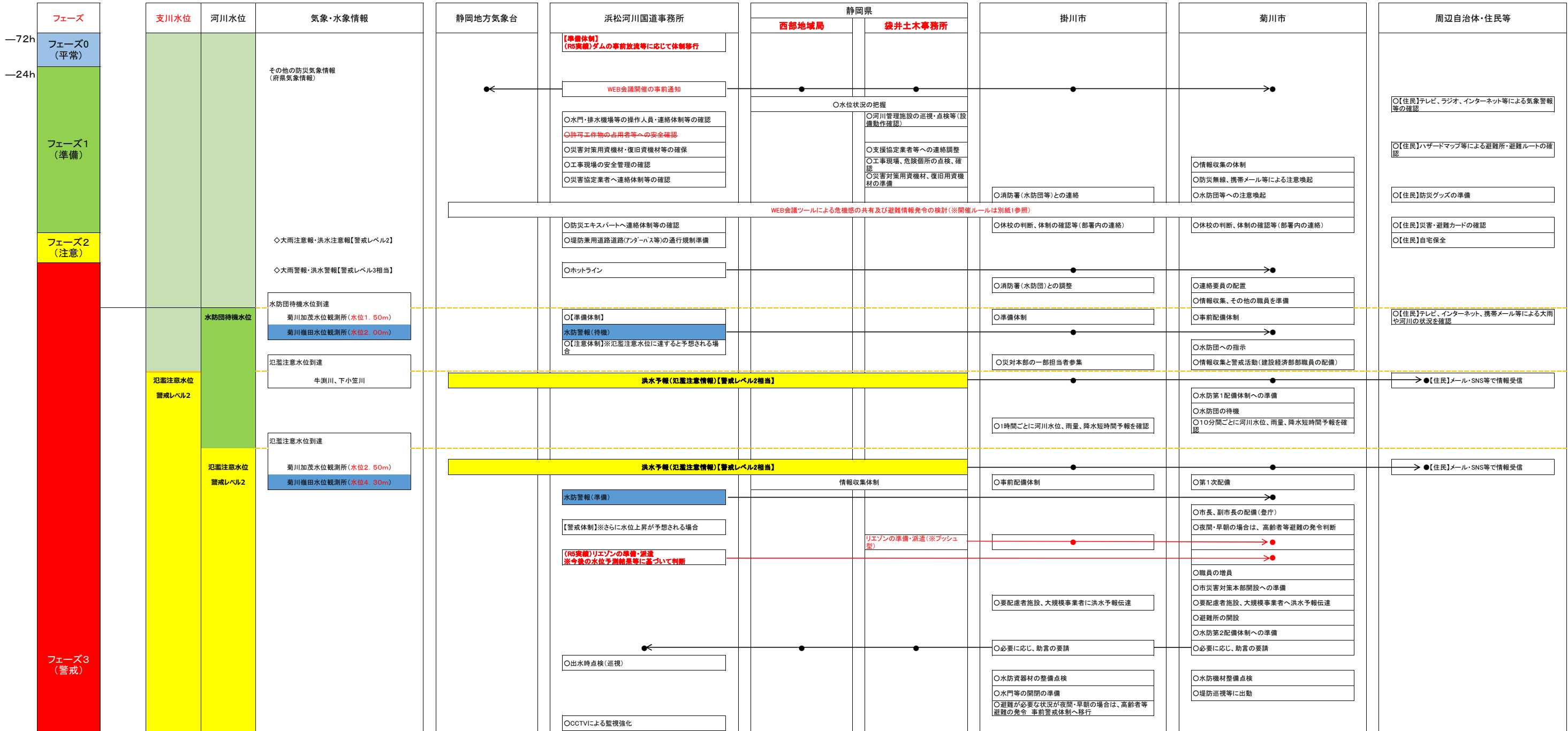
菊川水系菊川 流域一体型タイムライン

○現状タイムライン記載項目
▼:内水氾濫・支川の氾濫に関する項目
◇:気象警報
流域一体型タイムラインでの追加事項を赤字で示す
※支川は牛測川・下小笠川を対象

前提条件:前線性集中豪雨

Web会議開催の要件(案) ①または②を満たすときとする(詳細は別紙1に記載)
①府県気象情報「静岡県気象情報」で予想される24時間雨量が静岡県西部の多いところで250mmを超えると予想される時
②雨量予測・水位予測情報等に基づき、浜松河川国道事務所が各関係機関を参集する必要があると判断した時

資料6-2



菊川水系菊川 流域一体型タイムライン

○現状タイムライン記載項目
▼: 内水氾濫・支川の氾濫に関する項目
◇: 気象警報
流域一体型タイムラインでの追加事項を赤字で示す
※支川は牛淵川・下小笠川を対象

前提条件: 前線性集中豪雨

Web会議開催の要件(案) ①または②を満たすときとする(詳細は別紙1に記載)
①府県気象情報「静岡県気象情報」で予想される24時間雨量が静岡県西部の多いところで250mmを超えると予想される時
②雨量予測・水位予測情報等に基づき、浜松河川国道事務所が各関係機関を参集する必要があると判断した時

資料6-2

